

作成日: 2022/04/01

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: エヌケーライト

製品番号 (SDS NO): NK\_Lite-1

製品種類:

本製品は成形品である。一般的な環境では安定であり、物理的/化学的な危険性はない。

作業工程での粉じんやヒュームの発生を考慮し、本SDSでは混合物としての有害性を記載した。

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 洗面化粧台天板、キッチンカウンター天板等

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 西野金陵株式会社

住所: 愛知県名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル5F

電話番号: 052-561-5531

FAX: 052-561-5531

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 成形品のため分類対象外

物理化学的危険性: 火薬類 分類対象外

可燃性・引火性ガス 分類対象外

可燃性・引火性エアゾール 分類対象外

支燃性・酸化性ガス 分類対象外

高圧ガス 分類対象外

引火性液体 分類対象外

可燃性固体 分類できない

自己反応性化学品 分類できない

自然発火性液体 分類対象外

自然発火性固体 区分外

自己発熱性化学品 分類できない

水反応可燃性化学品 区分外

酸化性液体 分類対象外

酸化性固体 分類できない

有機過酸化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

人健康有害性: 急性毒性(経口、経皮、吸入) 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 分類できない

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 分類できない

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

授乳期または授乳を通じた影響 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 分類できない

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境有害性: 水生環境急性有害性 分類できない

水生環境慢性有害性 分類できない

絵表示またはシンボル: なし

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: なし

注意書き:

<安全対策>

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

<救急措置>

吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

<保管>

施錠して保管すること。

<廃棄>

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報: 労働安全衛生法 通知対象物 (メタクリル酸メチル、酸化チタン)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
水酸化アルミニウム	21645-51-2	52 - 65	1-17
メチル=メタクリラート重合体	9011-14-7	30 - 40	6-524
添加物	非公開	0 - 5	非公開
メタクリル酸メチル	80-62-6	0 - 1	2-1036

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

メタクリル酸メチル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

メタクリル酸メチル

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分

メタクリル酸メチル

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分

メタクリル酸メチル

### 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合(作業工程で生じた粉じんやヒューム)

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

呼吸困難のときは酸素吸入を行う。

- 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合(作業工程で生じた粉じんやヒューム)
  - 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
  - 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
  - 溶融物が皮膚に接触した場合は、直ちに大量の流水で皮膚とポリマーを冷やすこと。
  - 皮膚を剥がすおそれがあるので、ポリマーを取り除こうとしないこと。
- 眼に入った場合(作業工程で生じた粉じんやヒューム)
  - 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
  - その後も洗浄を続けること。
  - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合(作業工程で生じた粉じんやヒューム)
  - 口をすすぐこと。
  - 意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
  - 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
  - 徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
- 医師に対する特別な注意事項
  - 中毒症状は数時間後に現れることがある。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

### 特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物、金属酸化物を生成する。

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火水の下水への流入を防ぐ。

安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

#### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

(以下の処置は、作業工程で生じる粉じんやヒュームが漏出した場合に適用)

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。

### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

粉じんが飛散しないようにする。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。  
漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。

#### 二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

##### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

作業工程で発生する粉じん/煙を吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

作業工程で発生する粉じん/煙が皮膚に触れないようにする。

作業工程で発生する粉じん/煙が眼に入らないようにする。

作業工程で発生する粉じんの堆積を防止する。

#### 安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

#### 接触回避

強酸、強塩基との接触を避けること。

#### 衛生対策

作業工程で発生する粉じんを眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

乾燥した場所に保管すること。

(避けるべき保管条件)

飲食物、動物用飼料から離して保管する。

直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。

安全な容器包装材料データなし

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理指標

管理濃度データなし

#### 許容濃度

(メタクリル酸メチル)

日本産衛学会(2012) 2ppm; 8.3mg/m<sup>3</sup>

(水酸化アルミニウム)

ACGIH(2008) TWA: (非溶性化合物) 1mg-Al/m<sup>3</sup>(R) (じん肺症、下気道刺激、神経毒)

(メタクリル酸メチル)

ACGIH(2015) TWA: 50ppm;

STEL: 100ppm (上気道及び眼刺激; 体重影響; 肺浮腫)

## 特記事項

(メタクリル酸メチル)

皮膚感受性

## ばく露防止

## 設備対策

適切な換気のある場所では取り扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

## 保護具

## 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

## 手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質:非浸透性もしくは耐化学品ゴム

## 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

## 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 固体 (シート状)

色: 各色

臭い: 無臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点: 351°C

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率: 適用外

溶解度:

水に対する溶解度: 不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸発速度データなし

密度及び/又は相対密度: 1.6 - 1.8

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

## 10. 安定性及び反応性

## 反応性

反応性データなし

## 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

## 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

## 避けるべき条件

直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。

混触危険物質

強酸、強塩基

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、金属酸化物

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rat LD50=7800mg/kg (ACGIH 7th, 2015),

rat LD50=7900mg/kg, 8500mg/kg, 9400mg/kg (以上ECETOC JACC30, 1995)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

rabbit LD50 >5000mg/kg (EU-RAR, 2002)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

vapor: rat LC50=7093ppm/4hr (ECETOC JACC 30, 1995; EU-RAR, 2002; ACGIH 7th, 2015)

< 飽和蒸気圧濃度 (38614ppm) の90%

労働基準法: 疾病化学物質

メタクリル酸メチル

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ヒト 刺激性 (EU-RAR, 2002);

ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002);

EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

ラビット 刺激性 (EU-RAR No.22, 2002; ACGIH 7th, 2015)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性[厚労省局長通達]

メタクリル酸メチル

呼吸器感作性

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1 (産衛学会, 2012)

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

cat. 1 (EU-RAR No.22, 2002; 産衛学会, 2012);

EU CLP (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[IARC]

(メチル=メタクリレート重合体)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(メタクリル酸メチル)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(水酸化アルミニウム)

A4(2008): ヒト発がん性因子として分類できない

(メタクリル酸メチル)

A4(2015): ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

呼吸器 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

麻酔作用 (ECETOC JACC30, 1995; EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

神経系、呼吸器 (環境省リスク評価書 第11巻, 2013)

誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=48mg/L/48hr (EU-RAR, 2002)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(メタクリル酸メチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=3.5mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2017);

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC (速度法)= 86mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017)

水溶解度

(水酸化アルミニウム)

溶けない (ICSC, 1998)

(メタクリル酸メチル)

1.6 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

残留性・分解性

(メタクリル酸メチル)

BODによる分解度: 94.3% (化審法DB, 1976)

生体蓄積性

(メタクリル酸メチル)

log Pow=1.38 (PHYSPROP DB, 2005); Log Kow=1.38 (20°C) (環境省環境リスク評価 第11巻, 2013)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

メタクリル酸メチル(別表第9の557)

名称通知危険/有害物

メタクリル酸メチル(別表第9の557)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

メタクリル酸メチル(1.0%)(1-420)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

メタクリル酸メチル(1.0%)(管理番号420)

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

メタクリル酸メチル(中環審第9次答申の229)

水質汚濁防止法

指定物質

水酸化アルミニウム

法令番号 44

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和2年度 (2020年度))です。